

コミュニティスクール導入について



市村 香 議員

問

学校・保護者・地域住民がともに知恵を出し合い協働して子どもたちの豊かな成長を支えていくコミュニティスクール「学校運営協議会制度」については、まず制度の理解をすることが必要である。導入している学校では効果があるようなので、市としても適正規模や統廃合の課題もあるが、研修等を数多く実施して導入できたらと思うが、市の見解を伺う。

答

教育長 学校運営協議会を設け

て知恵を出し合い、子どもたちを支えて地域とともにある学校づくりを進めるというものです。

役割が3つあり、1

点目は学校運営の基本方針を承認する。2点目は学校運営に関する意見を校長または教育委員会に述べる。3点目が教職員の任用に関して教育委員会に意見が述べられるものです。文科省が調査した成果認識では、保護者や地域からの苦情減、生徒指導上の問題解決、学力向上にも効果があつたという回答がありました。今後、先進地域の取り組みを見ながら研修していくことが必要かと思っています。

問

第2期教育振興基本計画において、拡大するとの推進目標を掲げているが、教育長の見解を伺う。

答

教育長 教育再生実行会議の6次提言が出されるとの情報があるので、最新の情報を把握し研修しながらやっていきたいと思っています。

問

真壁地区で導入している事業との違いを伺う。

答

教育長 平成8年に旧真壁町時代にスタート。児童生徒の校外の活動の場を豊かな体験を通して生きる力を育むことを狙いとして、真壁・紫尾・谷貝・権穂の4小学校で実施されている事業です。



桜川市内公共交通網の整備について



小高友徳 議員

問

平成26年度に実施した市民アンケートにおいて、市内の公共交通体系に満足していると答えた市民の割合は、15・4%と低い結果となっている。デマンドタクシー運行開始後7年が経過したが、今後、桜川市内の交通体系の向上を図るには路線バス・巡回バス等の運行が必要か考えるが、市長の

見解は。

答

市長 公共交通の詳細な利用実態を調査して、地域公共交通会議において合意形成を経てバス運行を目指したい。新しい路線について来年度実現できればと考えています。

桜川市内小中学校の統廃合について

問

今年度、桃山中学校・真壁小学校・紫尾小学校、3校のPTA会長から真壁小・紫尾小の早期統合に関する要望書・請願書が提出された。桜川市内全域を対象とする適正配置計画だが、今後市としてどのように進めていくのか。

答

教育部長 今後10年間の適正配置に向けた具体的な方策について、保護者・地域住民の皆様のご意見を尊重し、適正配置基本計画に同意をいた

プレミアム付き商品券発行について



萩原剛志 議員

問

国から地域消費喚起・生活支援型と地方創生先行型の交付金が交付される予定となっている。低迷した消費を喚起し経済効果を促進するため、消費喚起型のプレミアム付き商品券を発行する自治体が増えてきている。地域振興券のようなのので、1万円で購入し1万2000円の買い物ができるなど。市の対応は。

答

市長公室長 国はプレミアム付き商品券の発行を推奨しています。市として

救急医療情報シートの進捗状況

問

救急医療情報をシートに記入できるようにして取り組むように検討していると思うが、現時点の進捗状況は。

答

保健福祉部長 県内では救急医療情報キットとホルダーの両方を配布している自治体は1つ、キットのみが23自治体、情報シートのみが8自治体です。桜川市は個人の情報を記入できるシートを作成し、実施できるように進め

だけの学校区ごとに進めていきたい。

幼保一体化推進事業について

問

まかべ幼稚園については、「今後、民間保育園と協議しながら民間への移行を考えている」と再編計画に明記されているが、在園児・入園児の保護者の方々は、いつまか幼稚園がなくなると大変不安視されている。

答

教育部長 平成27年度入園児が卒園するまでは、責任を持って教育を実施します。また、当面は公立幼稚園として運営し、園児数等の推移を研究・考慮して、統合や民間移行を視野に入れ検討します。

病院問題について



榎戸和也 議員

問

仮に、建設場所が養蚕地区と違っても、今回の合意は有効か。

答

市長 有効だと思いますが、本当のところ養蚕でない場合を問われても議会では答弁できません。新中核病院は脳疾患や心疾患に特化した病院となるの

か、それとも誰もが診てもらえる病院か。

答

市長 後者になると思います。それはこれからの話し合いによります。

桜川市立病院

問

桜川市がつくる病院で、県西病院（の機能）を残したと考えるか。

答

市長 桜川市民が医療の恩恵を十分に受けられることを念頭に、推進していきたい。

問

桜川市立病院は、回復・維持期を中心に対応する病院とされている。これでは県西病院と違い、一般病床がほとんどない病院となってしまうのではないか。

答

市長 必ず一般病床は残りま。それがいくつになるのかは今後の話し合いによります。ベッド数も現在の入院患者を考えるとこれだけ（1

20床まで）は減らさないと思います。

答

市長 山王さんも命がけでやっています。その話はもちろん理解しています。山王病院の実態が議会に何も示されない中で、これだけのことをやっていくのはどうかと思うが。

問

指定管理者制度は、再編の枠組みに参加して病院を畳んでもらう隆仁会に管理を委ねることだが、指定管理は任期を切った契約であり、将来別な方をお願いをすることもあり得る。市長はこうしたことを先方にきちんと伝えていくか。

答

市長 山王さんも命がけでやっています。その話はもちろん理解しています。山王病院の実態が議会に何も示されない中で、これだけのことをやっていくのはどうかと思うが。

問

議員、（議会のすぐ）そこにありますので、ぜひ（自身でその）実態を把握した上でいろいろな質疑をしていただきたい。

答

市長 榎戸議員、（議会のすぐ）そこにありますので、ぜひ（自身でその）実態を把握した上でいろいろな質疑をしていただきたい。